

NSG グループ

2026年3月期 第3四半期決算報告

(2025年4月1日～ 2025年12月31日)

日本板硝子株式会社
2026年2月6日

目次

1. 2026年3月期 第3四半期決算概要
2. 2026年3月期 業績予想
3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況
4. まとめ

1. 2026年3月期 第3四半期決算概要

連結損益計算書

欧州建築用ガラス事業の改善により、売上高および営業利益が大幅増加。
引き続き利益改善のためのあらゆる施策を推進

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期 累計 (9か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	2,075	2,198	123	6,300	6,406	106
営業利益	6	65	59	108	185	77
営業利益率	0.3%	3.0%	+2.7pt	1.7%	2.9%	+1.2pt
個別開示項目 (純額)	△ 25	△ 1	23	△ 25	△ 7	18
個別開示項目後営業利益	△ 19	64	83	83	178	95
金融費用 (純額)	△ 56	△ 75	△ 18	△ 182	△ 210	△ 28
持分法による投資利益	12	15	3	37	44	7
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	△ 0	△ 0	-	△ 4	△ 4
税引前利益 (△損失)	△ 64	4	68	△ 62	8	70
当期利益 (△損失)	△ 59	△ 7	52	△ 93	△ 41	52
純利益 (△損失)*	△ 62	△ 9	53	△ 101	△ 51	49
EBITDA	130	201	70	481	582	101

売上高・営業利益

売上高は欧米の自動車用ガラス事業により増加。
営業利益は主に欧州の建築用ガラス事業で改善が見られたため大幅に増加

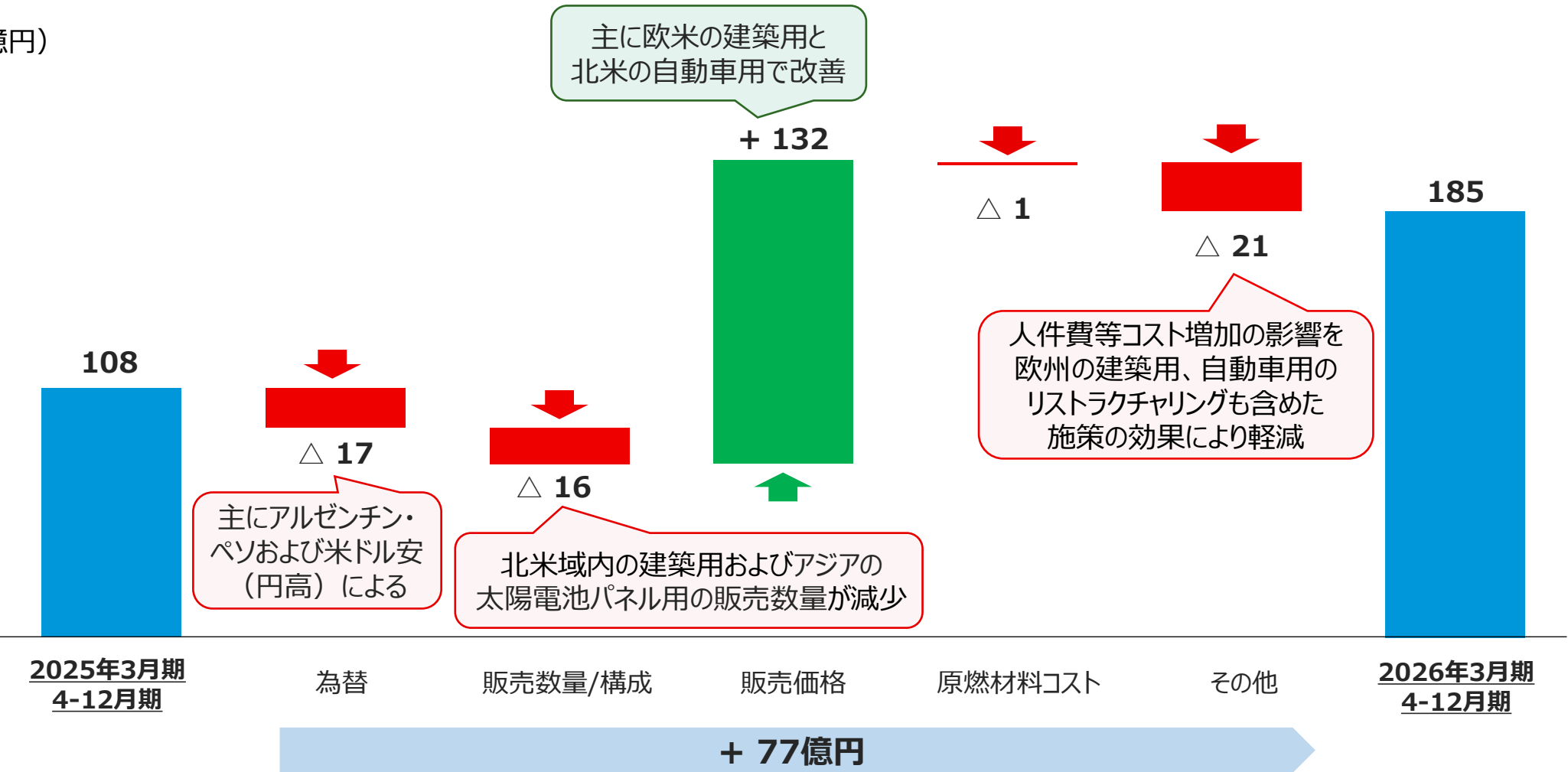
【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	△ 14	+103
自動車用	+ 150	+ 9
高機能	△ 32	△ 10
その他	+ 2	△ 25
グループ全体	+ 106	+ 77

営業利益差異分析 (4-12月期累計)

主に欧米の建築用ガラス事業および北米の自動車用ガラス事業で、販売価格が改善。
人件費等コスト増加の影響を欧州のフロート窯停止も含めたコスト改善により軽減

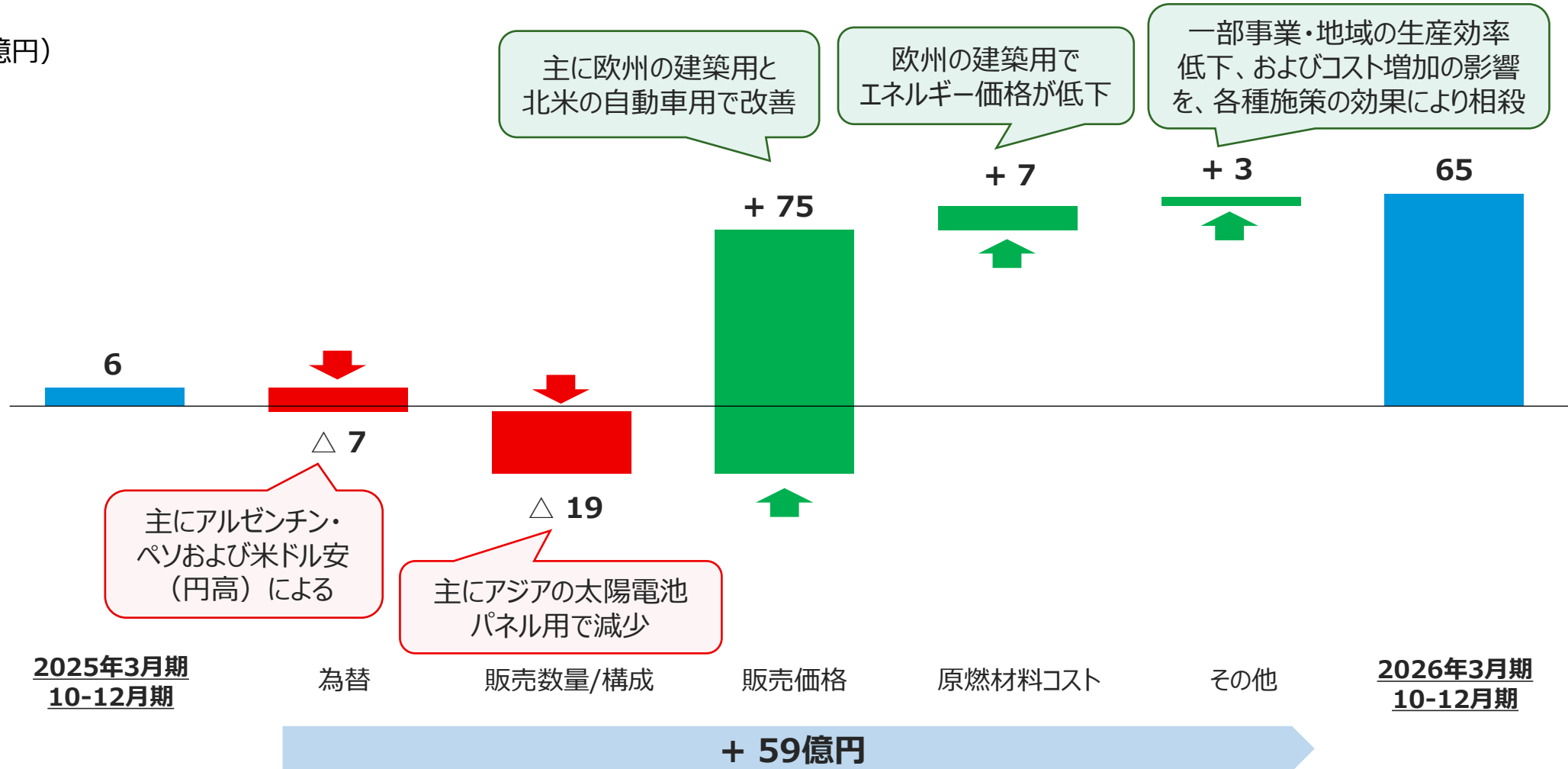
(億円)



営業利益差異分析 (10-12月期)

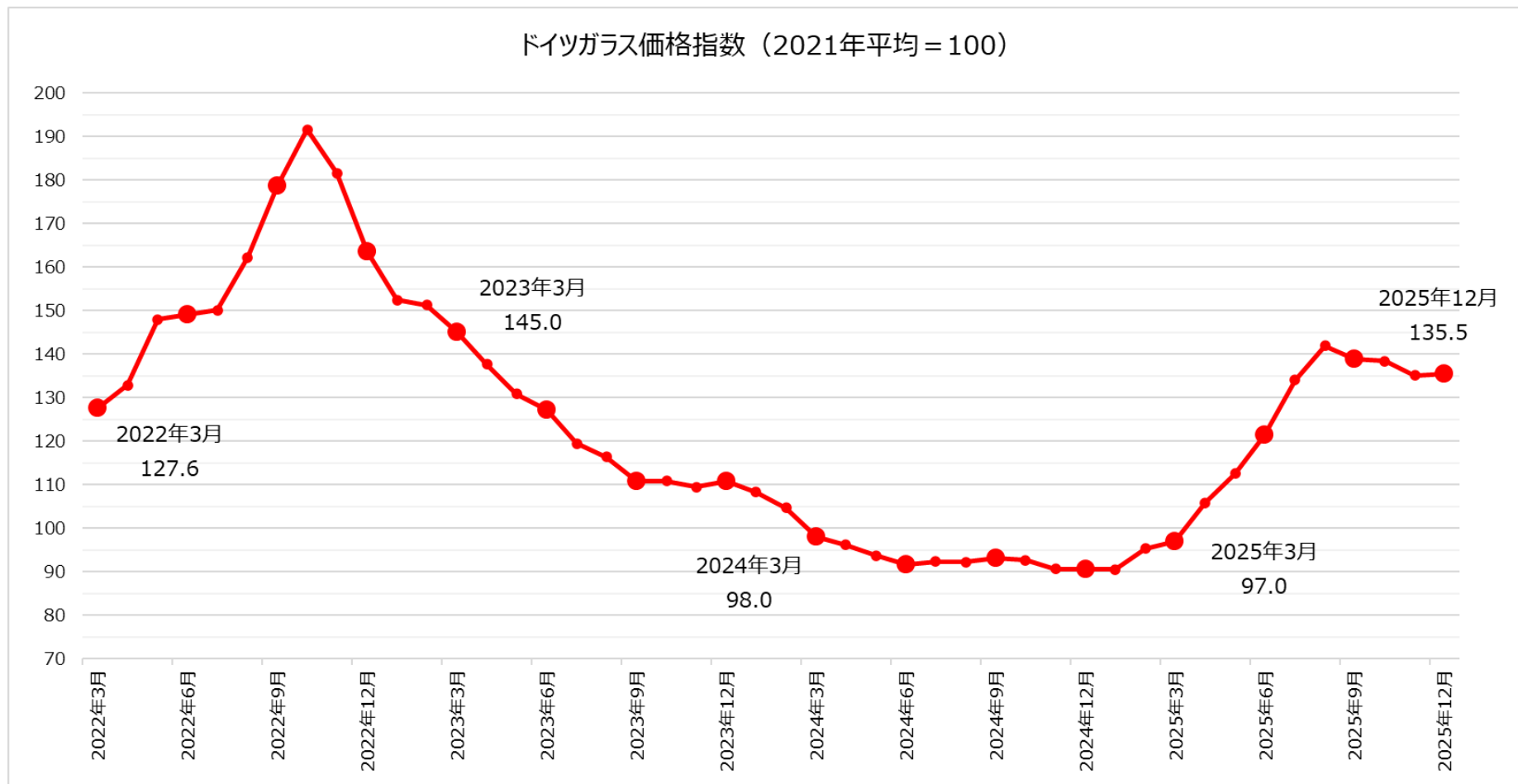
主に欧州の建築用ガラス事業および北米の自動車用ガラス事業で、販売価格が改善。
一部事業・地域の生産効率低下の影響は各種施策によるコスト改善効果により軽減

(億円)



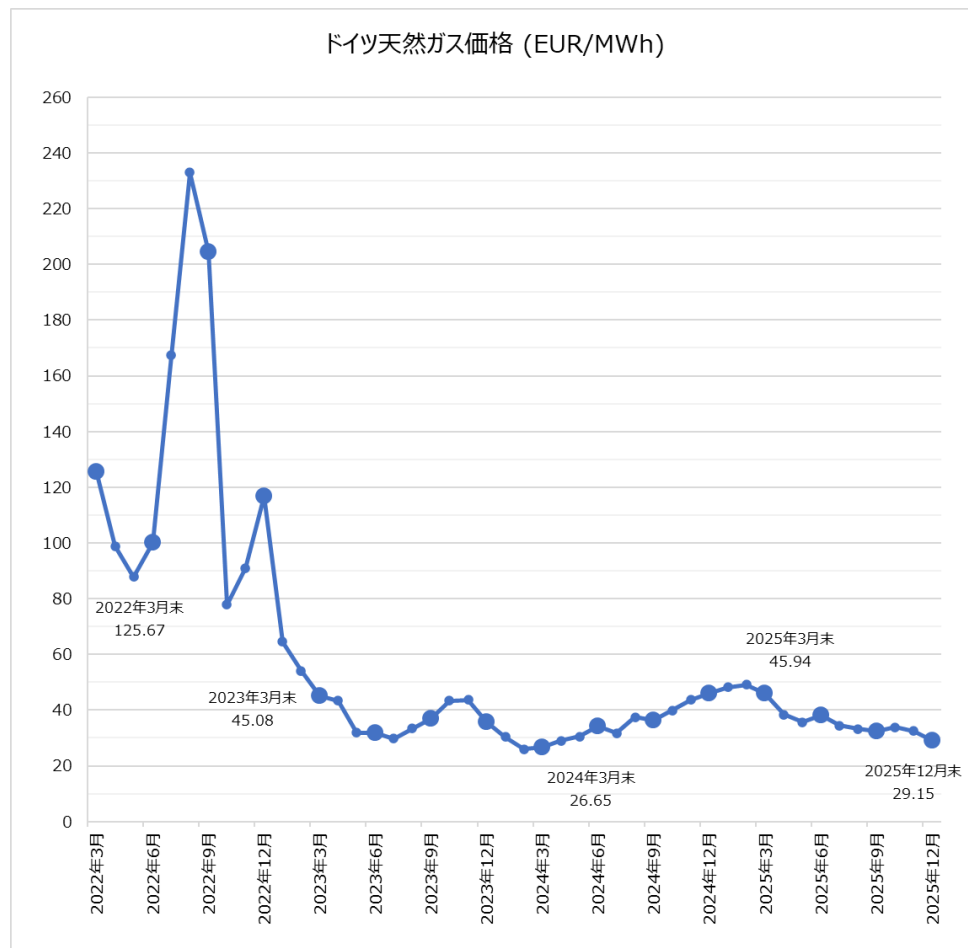
欧州ガラス価格の推移

ガラス製造業全体における需給状況の改善により、ガラス価格は上半期に上昇後
10-12月期は安定して推移



エネルギー価格の推移

欧州天然ガス価格は徐々に低下傾向。
日本の重油は依然高値圏で推移



連結貸借対照表

自己資本比率は11.6%と前期末より改善。
有利子負債は主に運転資本の季節的な変動と為替影響により増加

(億円)	2025年 3月末	2025年 12月末	増減
資産合計	10,329	10,749	420
非流動資産	7,098	7,513	416
流動資産	3,232	3,236	4
負債合計	8,905	9,202	297
流動負債	4,094	4,516	422
非流動負債	4,811	4,686	△ 125
資本合計	1,424	1,547	123
親会社の所有者に帰属する持分	1,081	1,243	163
自己資本比率 (%)	10.5%	11.6%	+1.1pt
有利子負債	5,248	5,702	454

非流動資産

主に為替影響（円安）により、有形固定資産等が増加

流動負債

主に運転資本の季節的な変動と長期借入金からのシフトにより、短期借入金が増加

自己資本比率

11.6%と前期末比で改善。
主にその他の包括利益を通じて公正価値を測定する金融資産の純変動、為替影響およびアルゼンチンにおける超インフレ調整に伴う資産価値の増加による

有利子負債

主に運転資本の季節的な変動と為替影響により増加

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは運転資本の季節的変動に伴いマイナスながら、前年同期比で改善。
引き続きフリー・キャッシュ・フローの改善により有利子負債の削減を目指す

(億円)	10-12月期（3か月）			4-12月期 累計（9か月）		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 30	△ 22	8	△ 68	△ 46	22
（うち、運転資本の増減）	△ 28	△ 117	△ 89	△ 194	△ 338	△ 144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 148	△ 105	43	△ 396	△ 276	120
（うち、有形固定資産の取得）	△ 143	△ 95	48	△ 378	△ 323	55
フリー・キャッシュ・フロー	△ 178	△ 126	52	△ 464	△ 322	142
財務活動によるキャッシュ・フロー	188	126	△ 63	499	97	△ 402
現金及び現金同等物の増減	10	△ 1	△ 11	35	△ 225	△ 260
現金及び現金同等物 期末残高				491	434	△ 57

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業増益により前年同期比で改善

投資活動によるキャッシュ・フロー
主にベトナムフロートグラス社の持分譲渡に伴う収入および有形固定資産の取得に伴う支出の減少により前年同期比で改善

フリー・キャッシュ・フロー
前年同期比で改善

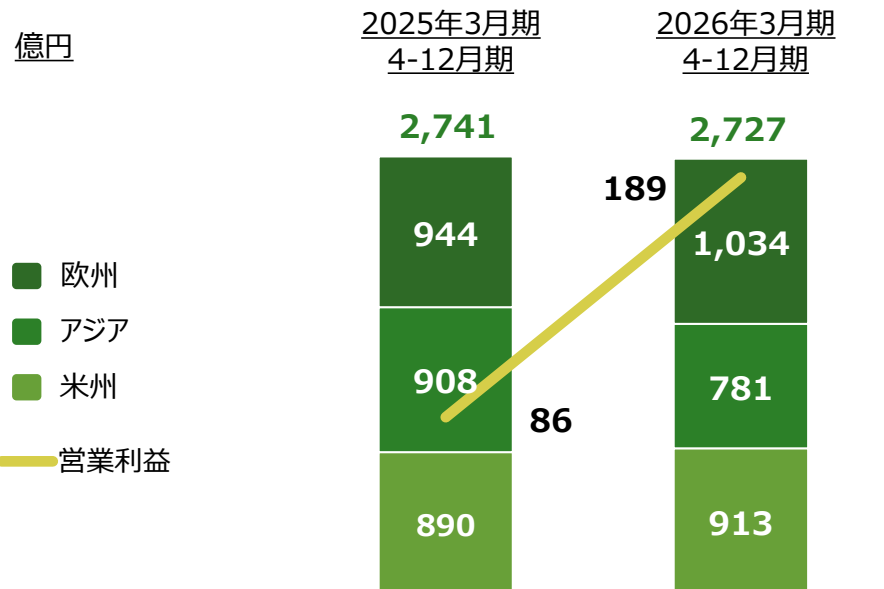
セグメント情報

(億円)	2024年3月期 4-12月期			2025年3月期 4-12月期			2026年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	2,745	45%	262	2,741	44%	86	2,727	43%	189	△ 14	103
欧州	1,071	17%		944	15%		1,034	16%		90	
アジア	827	13%		908	14%		781	12%		△ 127	
米州	847	14%		890	14%		913	14%		23	
自動車用ガラス事業	3,059	50%	93	3,189	51%	26	3,339	52%	35	150	9
欧州	1,272	21%		1,297	21%		1,390	22%		93	
アジア	595	10%		613	10%		607	9%		△ 6	
米州	1,192	19%		1,279	20%		1,342	21%		63	
高機能ガラス事業	296	5%	57	362	6%	57	330	5%	47	△ 32	△ 10
欧州	76	1%		74	1%		82	1%		7	
アジア	207	3%		275	4%		237	4%		△ 38	
米州	14	0%		12	0%		11	0%		△ 2	
その他	27	0%	△ 91	7	0%	△ 62	9	0%	△ 87	2	△ 25
合計	6,127	100%	321	6,300	100%	108	6,406	100%	185	106	77

建築用ガラス事業

(累計：減収・増益 10-12月期：増収・増益)

売上高は減少したが、営業利益は特に欧州において販売価格が改善したため、大幅に増加。
前年度に実施した生産停止に伴うコスト削減効果は引き続き寄与



(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期 累計 (9か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	942	951	9	2,741	2,727	△ 14
欧州	290	348	58	944	1,034	90
アジア	334	272	△ 62	908	781	△ 127
米州	318	330	12	890	913	23
営業利益	20	71	51	86	189	103

欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

- ドイツのフロート窯停止による需給バランスの改善に伴い、販売価格が前年度比で上昇し10-12月期も安定して推移
- 販売構成も改善
- フロート窯停止に伴うコスト改善が継続

アジア (累計：減収・減益 10-12月期：減収・減益)

- 日本では販売数量/構成が低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は、米国関税政策等を踏まえた取引先の生産調整の影響が続くが、改善傾向

米州 (累計：増収・減益 10-12月期：増収・増益)

- 北米は商業用不動産市場の需要軟化が継続するが、原燃材料費上昇分の価格転嫁により販売価格は改善
- 南米は主にアルゼンチンでの販売数量が増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

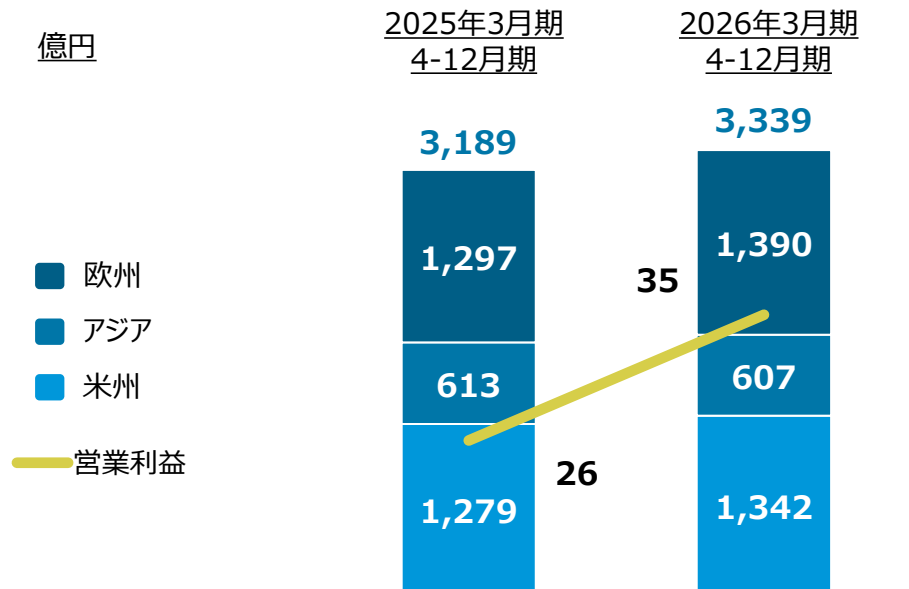
自動車用ガラス事業

(累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)



売上高および営業利益は前年同期から改善。

販売数量は減少したが、補修用を中心に販売価格の改善が進展



(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期 累計 (9か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	1,016	1,127	111	3,189	3,339	150
欧州	405	472	67	1,297	1,390	93
アジア	214	214	0	613	607	△ 6
米州	397	441	44	1,279	1,342	63
営業利益	△ 9	0	9	26	35	9

欧州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

アジア (累計：減収・減益 10-12月期：増収・減益)

米州 (累計：増収・増益 10-12月期：増収・増益)

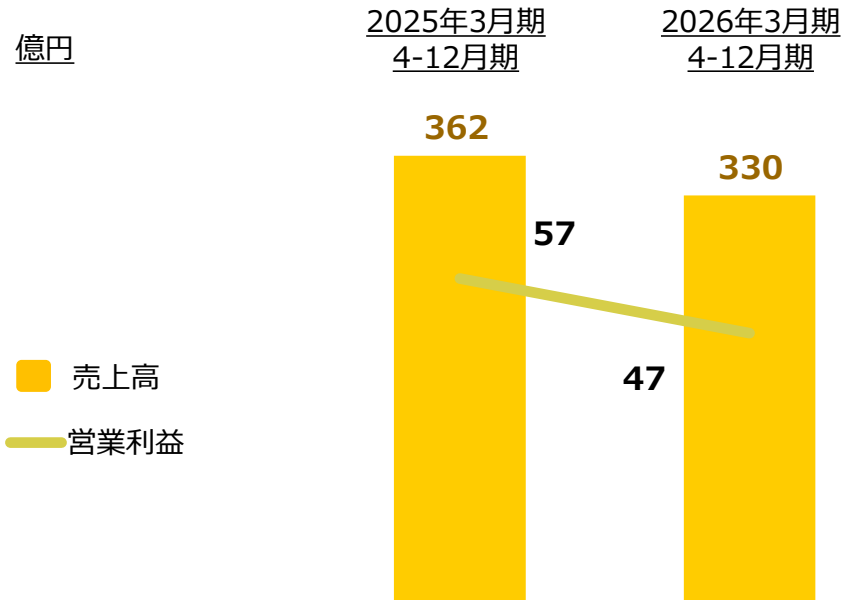
- 欧州の自動車販売台数は低水準だが、販売構成が改善
- 日本では新車用の販売数量および販売価格が伸び悩む
- 北米では補修用の販売価格が上昇、新車用の一時的な生産効率低下は継続。
南米では販売数量が増加
- ドイツ工場、イタリア工場等欧州での生産体制見直しは計画通り進捗

高機能ガラス事業

(累計：減収・減益 10-12月期：減収・増益)

累計売上高および営業利益は、一部製品の販売構成の影響を受け減少。

10-12月期は当初計画通り販売構成が改善し、増益



- ファインガラスは、当初計画通り10-12月期から販売構成が改善
- プリンター用レンズは、プリンター・複合機に対する需要減少の影響を受ける
- グラスコードは補修用市場での堅調な需要が継続
- メタシャイン® は自動車用塗装向けが減少

(億円)	10-12月期 (3か月)			4-12月期 累計 (9か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	115	114	△ 1	362	330	△ 32
営業利益	18	24	6	57	47	△ 10

2. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

通期業績予想は変更なし。

達成はチャレンジングだが、利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施

(億円)	2026年3月期 上期実績	2026年3月期 4-12月期 累計実績	2026年3月期 通期予想 (変更なし)	2025年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,208	6,406	8,500	8,404
営業利益	120	185	310	165
個別開示項目 (純額)	△ 6	△ 7	10	△ 52
個別開示項目後営業利益	114	178	320	112
金融費用 (純額)	△ 135	△ 210	△ 270	△ 253
持分法による投資利益	25	40	60	55
税引前利益 (△損失)	4	8	110	△ 85
当期利益 (△損失)	△ 34	△ 41	40	△ 135
純利益 (△損失)*	△ 42	△ 51	20	△ 138

2026年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>欧州市場の緩やかな改善を見込むが想定より遅れ。他地域では米国関税政策による不確実性が残る。 グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施。 繰延税金資産の見直しを検討中であり、第4四半期の税金費用が恩恵を受ける可能性</p> <ul style="list-style-type: none">● 主要通貨に対して当初見込みより円安の継続を見込む● 一部事業・地域でエネルギー価格や原材料価格は上昇、インフレによる人件費等その他コスト増加も継続
建築用ガラス	<p>欧州市場の改善は想定より遅れるが、販売価格が安定して推移。太陽電池パネル用ガラスの需要は改善傾向</p> <ul style="list-style-type: none">● 欧州：フロート窯生産停止による安定的な販売価格とコスト削減が寄与● アジア：日本では建築需要の先行きに注意の一方で、販売価格改善を推進● 北米：不透明な経済見通しに伴い需要減少が継続する可能性。米国の関税政策を含む経済動向に注意● 南米：アルゼンチンで販売数量が改善。超インフレに伴うコスト上昇を販売価格への転嫁で吸収● 太陽電池パネル用ガラス：米国では堅調な需要が継続、アジアでは需要が改善傾向
自動車用ガラス	<p>コスト増加の影響が続くが、販売価格改善交渉を継続。 米国関税政策による米国向け自動車生産に対する需要動向を注視</p> <ul style="list-style-type: none">● 米国関税政策による米国向け自動車生産に対する需要動向を注視の一方、競合の製品に対して高い税率が適用されることで米国補修用市場において比較的優位を維持● 欧州での生産体制見直しに伴うコスト削減が寄与● 北米での一時的な生産効率低下は改善傾向● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>多くの事業で需要は堅調に推移。コスト増加の影響を販売数量および販売価格の改善で吸収</p> <ul style="list-style-type: none">● 各事業で前年度に回復した需要が堅調に推移し、当初計画通りファインガラスで製品構成が改善

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」 財務目標の進捗状況

「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況

欧州経済減速の影響を大きく受けた前年度からは回復しているものの、目標まではギャップ。
引き続き収益性の回復、キャッシュ・フローの改善に注力

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2026年3月期（4-12月期） 実績
収益性（P/L）	営業利益	640億円		185億円：欧州建築用ガラス事業の改善により 前年同期比で増益
	営業利益率（ROS）	7%	10%以上	2.9%：前年同期比で1.2pt改善
▼				
キャッシュ創出（C/F）	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△322億円：運転資本の季節的な変動によりマイナス だが、前年同期比で改善
▼				
財務基盤の安定化 （B/S）	有利子負債	4,420億円		5,702億円：前期末から454億円増加
	自己資本比率	15%		11.6%：前期末から1.1pt改善

4. まとめ

まとめ

1. 2026年3月期 第3四半期決算概要

- 欧州建築用ガラス事業の改善により、売上高および営業利益が大幅増加。
引き続き利益改善のためのあらゆる施策を推進
- 主に欧米の建築用ガラス事業および北米の自動車用ガラス事業で、販売価格が改善。
人件費等コスト増加の影響を欧州のフロート窯停止も含めたコスト改善により軽減
- 自己資本比率は11.6%と前期末より改善。
フリー・キャッシュ・フローは運転資本の季節的な変動によりマイナス。
有利子負債は主に運転資本の季節的な変動と為替影響により増加

2. 2026年3月期 業績予想

- 通期業績予想は変更なし。
達成はチャレンジングだが、利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施

3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況

- 欧州経済減速の影響を大きく受けた前年度からは回復しているものの、目標まではギャップ。
引き続き収益性の回復、キャッシュ・フローの改善に注力

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

連結損益計算書

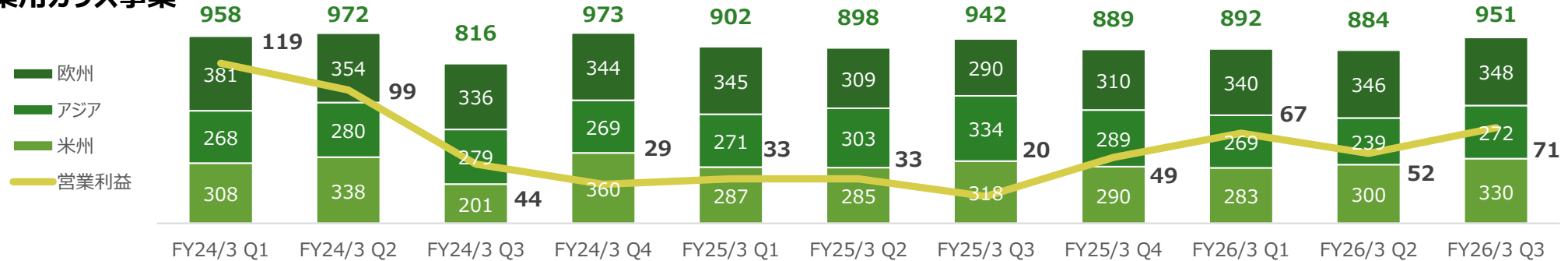
四半期別推移

(億円)	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	2,080	2,122	1,925	2,198	2,164	2,060	2,075	2,104	2,102	2,106	2,198
営業利益	146	115	61	38	48	55	6	57	69	51	65
営業利益率	7.0%	5.4%	3.2%	1.7%	2.2%	2.7%	0.3%	2.7%	3.3%	2.4%	3.0%
個別開示項目 (その他)	△ 8	11	6	△ 8	2	△ 2	△ 25	△ 27	17	△ 22	△ 1
個別開示項目後営業利益 (△損失)	138	125	67	29	49	53	△ 19	30	85	29	64
金融費用 (純額)	△ 64	△ 77	△ 64	△ 78	△ 60	△ 66	△ 56	△ 71	△ 68	△ 68	△ 75
持分法適用会社に対する金融債権の 減損損失の戻入益 (△損失)	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
持分法による投資利益	10	12	15	14	11	14	12	18	13	16	15
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	11	△ 0	△ 1	△ 0	-	-	-	-	△ 4	△ 0	△ 0
税引前利益 (△損失)	133	61	17	△ 35	0	1	△ 64	△ 23	27	△ 23	4
当期利益 (△損失)	75	30	36	△ 32	27	△ 61	△ 59	△ 42	5	△ 38	△ 7
純利益 (△損失)*	70	27	37	△ 29	24	△ 63	△ 62	△ 38	△ 2	△ 41	△ 9
EBITDA	253	226	170	168	175	175	130	177	198	183	201

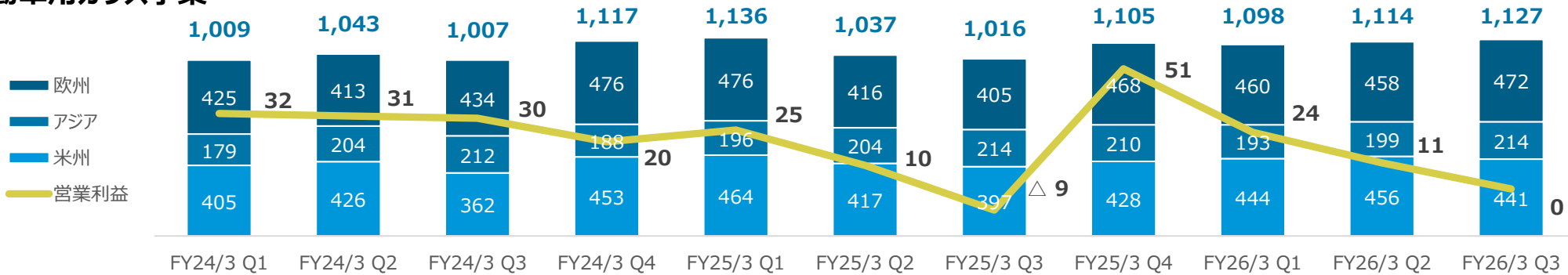
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

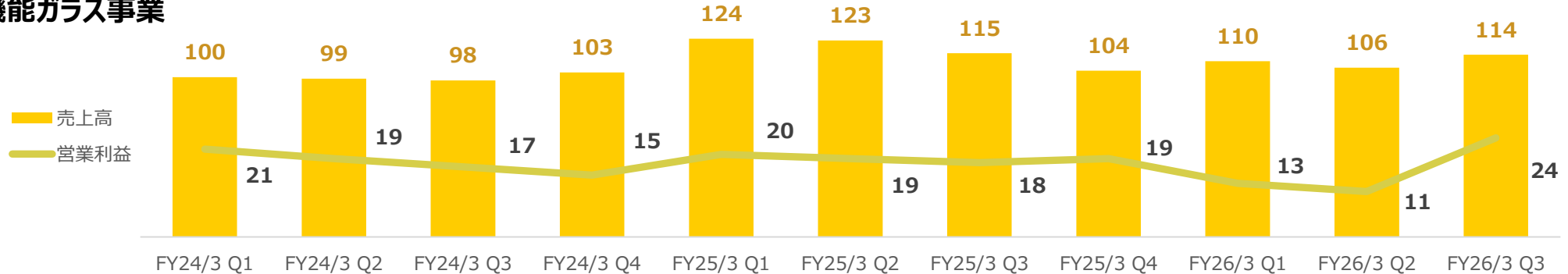
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	958	972	816	973	3,718	902	898	942	889	3,630	892	884	951	2,727
欧州	381	354	336	344	1,415	345	309	290	310	1,254	340	346	348	1,034
アジア	268	280	279	269	1,096	271	303	334	289	1,197	269	239	272	781
米州	308	338	201	360	1,206	287	285	318	290	1,180	283	300	330	913
営業利益	119	99	44	29	291	33	33	20	49	136	67	52	71	189
売上高: 自動車用ガラス	1,009	1,043	1,007	1,117	4,176	1,136	1,037	1,016	1,105	4,294	1,098	1,114	1,127	3,339
欧州	425	413	434	476	1,747	476	416	405	468	1,765	460	458	472	1,390
アジア	179	204	212	188	783	196	204	214	210	823	193	199	214	607
米州	405	426	362	453	1,645	464	417	397	428	1,707	444	456	441	1,342
営業利益	32	31	30	20	113	25	10	△ 9	51	77	24	11	0	35
売上高: 高機能ガラス	100	99	98	103	399	124	123	115	104	466	110	106	114	330
欧州	25	26	26	30	106	28	23	23	28	102	29	27	25	82
アジア	71	69	67	69	275	91	95	89	72	347	77	75	85	237
米州	4	5	5	4	18	5	5	3	4	17	4	4	3	11
営業利益	21	19	17	15	71	20	19	18	19	76	13	11	24	47
売上高: その他	13	8	5	6	33	2	2	3	6	13	1	2	7	9
営業利益	△ 27	△ 34	△ 30	△ 26	△ 117	△ 31	△ 7	△ 23	△ 62	△ 123	△ 34	△ 22	△ 30	△ 87
売上高: 合計	2,080	2,122	1,925	2,198	8,325	2,164	2,060	2,075	2,104	8,404	2,102	2,106	2,198	6,406
営業利益	146	115	61	38	359	48	55	6	57	165	69	51	65	185

地域別売上高および営業利益

(億円)	2025年3月期 4-12月期			2026年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	2,315	37%	△ 189	2,506	39%	△ 21	191	168
アジア	1,796	29%	271	1,625	25%	194	△ 171	△ 77
米州	2,181	35%	88	2,265	35%	99	84	11
その他 *	7	0%	△ 62	9	0%	△ 87	2	△ 25
合計	6,300	100%	108	6,406	100%	185	106	77

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2025年3月期 4-12月期	2026年3月期 4-12月期
子会社および事業の売却による収益	-	18
非流動資産の減損損失の戻入益	0	1
係争案件の解決に係る収益（△費用）純額	△ 1	△ 1
リストラクチャリング費用	△ 29	△ 3
その他包括利益計算書を通じて公正価値を測定する 金融資産の売却に伴うリサイクリング損失	-	△ 22
非流動資産の売却による収益	3	-
引当金の戻入益	2	-
非流動資産の減損損失	△ 1	-
棚卸資産の評価減	△ 1	-
その他	△ 0	-
個別開示項目 純額	△ 25	△ 7

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期			2026年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	見通し
英ポンド	172	177	179	182	197	195	195	194	193	196	199	197
ユーロ	150	153	154	157	168	165	164	163	164	168	172	170
米ドル	138	140	143	144	156	152	152	152	145	146	149	148
ブラジル・リアル	27.7	28.6	29.0	29.4	29.9	28.3	27.5	27.1	25.5	26.3	27.0	26.4
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用											

期末レート

	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	183	182	181	191	204	191	196	193	197	199	211
ユーロ	158	157	157	163	173	159	162	161	168	173	183
米ドル	145	148	143	152	162	143	157	148	144	149	156
ブラジル・リアル	29.8	29.5	29.2	30.4	29.3	26.2	25.3	25.9	26.2	27.8	28.3
アルゼンチン・ペソ	0.57	0.42	0.18	0.18	0.18	0.15	0.15	0.14	0.12	0.11	0.11

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、
為替レートが他の通貨に対して
1%変動した場合の影響額

	2025年 3月期
資本	37.0億円
当期利益	1.0億円

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2025年3月期 4-12月期	2026年3月期 4-12月期	2026年3月期 通期見通し
減価償却費	373	397	520
資本的支出	389	253	440
通常投資	199	192	260
戦略投資	190	61	180
研究開発費	79	81	115
建築用ガラス事業	29	28	40
自動車用ガラス事業	24	24	34
高機能ガラス事業	7	7	11
その他	19	22	29

NSG

GROUP